

サラリーマン世帯の主婦 500 名に聞く「2014 年夏のボーナスと家計の実態調査」

夏のボーナス平均手取額は 72.2 万円(昨夏比+2.3 万円)**平均手取額が 70 万円台となったのは、2008 年夏以来 6 年ぶり****主婦の“へそくり”の平均額は、過去最高の 452.4 万円(昨夏比+36.4 万円)****ボーナスから夫に渡した小遣いの額は平均 13.2 万円(昨夏比+1.8 万円)****夫の小遣いの月平均額は 39,315 円。消費税増税後も、約 9 割が「変わらない」**

損保ジャパン・ディー・アイ・ワイ生命保険株式会社(社長:山本 学)は、全国の 20~50 代のサラリーマン世帯の主婦 500 名(各年代毎 125 名 平均年齢 39.7 歳)を対象に、「2014 年夏のボーナスと家計の実態」をテーマとしたアンケートを、2014 年 6 月 6 日(金)~11 日(水)に実施いたしました。

今回の調査では、ボーナス平均手取額が 72.2 万円と、昨夏の平均手取額から 2.3 万円増加する結果となりました。さらに、ボーナスの今後の見通しについては、「増えていくと思う」(28.2%)が「減っていく+なくなると思う」(20.8%)を上回る結果となり、アベノミクスの影響からか、全体的に明るい結果となりました。

夫に内緒の資産(へそくり)は、所持金額が過去最高を記録した昨夏から、36.4 万円増の 452.4 万円と、過去最高を更新した結果となっており、依然として「貯める」意識が高いことが見て取れます。

また、主婦の財布に入っている金額は、「1 万~2 万円未満」が約 4 割を占め、平均額は、18,966 円という結果になりました。また、家計のやりくりで財布を分けている主婦は、全体の約 3 割にのぼり、中には、8 つの財布を使い分ける主婦も見られ、主婦の家計のやりくりの様子が垣間見られました。

第 28 回損保ジャパン DIY 生命アンケート「2014 年夏のボーナスと家計の実態調査」の結果概要は以下のとおりです。

《 「2014 年夏のボーナスと家計の実態調査」の主な結果 》

<2014 年夏のボーナス>

- 夏のボーナス「増えた」は 35.0%、「減った」は 15.0%。平均手取額は 72.2 万円(昨夏比+2.3 万円)。平均手取額が 70 万円台となったのは、2008 年夏以来 6 年ぶり。
- ボーナスの使い道は「預貯金」が(70.0%)と群を抜いている。
- ボーナスから夫に渡した小遣いは平均 13.2 万円(昨夏比+1.8 万円)と増加するも、“渡す”主婦は半数以下。
- この夏臨時ボーナスをあげたい人得票数 1 位は「浅田真央」、2 位は「羽生結弦」。芸能人では「タモリ」がトップ。
- あげたいボーナスの額 1 位は、「田中将大」の 2,401 万円。
- 主婦が詠む夏のボーナス川柳「ボーナスが ボーナス払いに 消えてゆく」など家計のやりくりの大変さを詠んだものが多く見られる。

<家計の現状/わが家の生活防衛策>

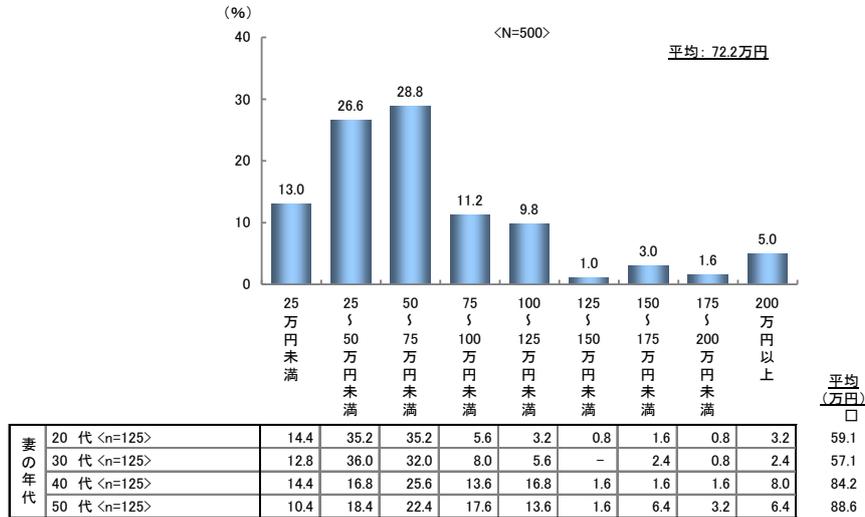
- 家計が「苦しい」(53.2%→50.8%)に対し、「楽である」(46.8%→49.2%)とほぼ同率。
- 夫に内緒の資産(へそくり)の所持平均額は「416.0 万円」→「452.4 万円」と増加。
- ふだん主婦の財布に入っている金額(現金)は「1 万~2 万円未満」が約 4 割。平均額は 18,966 円。残金が 6,207 円になったら補てんする。
- 2 つ以上の財布を使い分ける主婦は 35.4%。「家計費」用や「自分の小遣い」用など、用途によって使い分けている。中には 8 つの財布を使い分ける主婦も。
- 夫の月の小遣いの平均額は 39,315 円。消費税増税後、夫の小遣いを「増やした」は 5.4%、「減らした」は 6.1%。「変わらない」が約 9 割。

※「昨夏」は 2013 年夏を指します。(〇〇→△△)は、昨夏との比較を表します。

《2014年夏のボーナス》

平均手取額は昨夏から2.3万円増の72.2万円。昨夏のボーナスと比較して「増えた」(35.0%)が「減った」(15.0%)を大きく上回り、増減の平均金額は昨夏より1.6万円増の「+2.7万円」。さらに、平均手取額が70万円台となったのは、2008年以來6年ぶり。

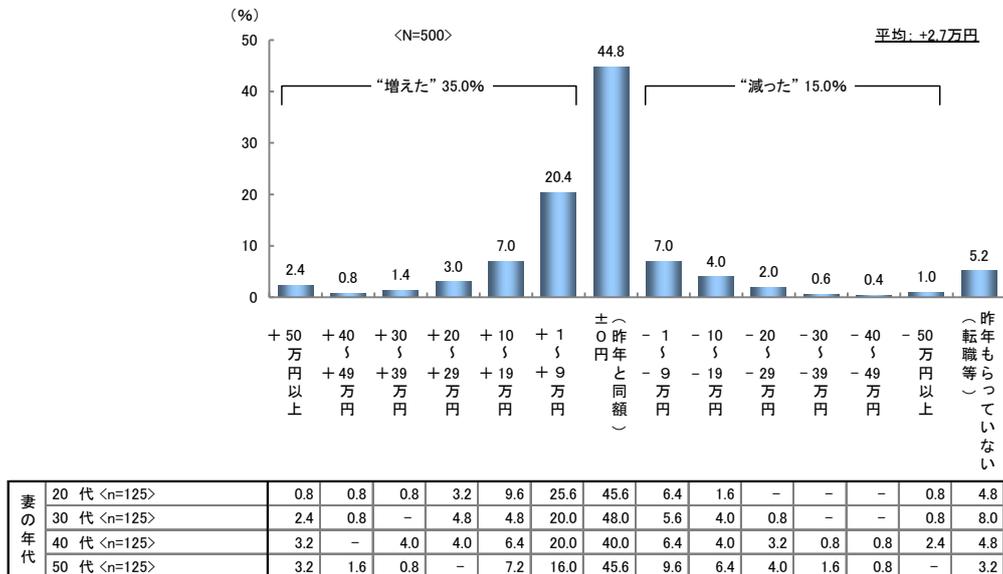
2014年夏のボーナス手取額



今夏のボーナス手取額を聞いたところ、「50～75万円未満」(28.8%)が最も多く、続く「25～50万円未満」(26.6%)を合わせると、「25～75万円未満」が半数以上(55.4%)を占めています。

平均金額は昨夏から2.3万円増の72.2万円となりました。平均手取額が70万円台となったのは、2008年夏以来6年ぶりで、回復の傾向がうかがえます。

昨夏のボーナスと比較しての増減



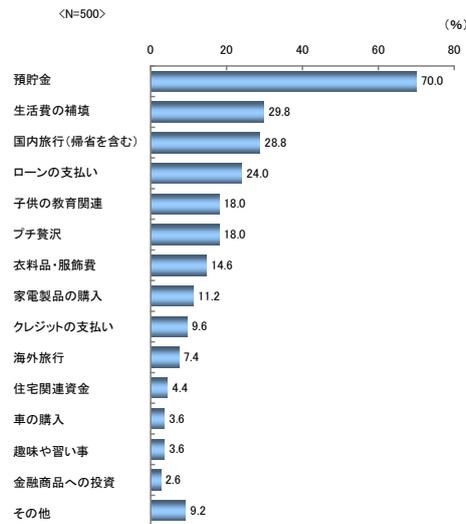
昨夏の支給額と比べて、ボーナスが「増えた」(35.0%)という回答は「減った」(15.0%)より20ポイント多い結果になりました。増減の平均額は「+2.7万円」となり、昨年(「1.1万円」)よりも1.6万円増と増加傾向がみられました。

《ボーナスの使い道》

ボーナスの使い道は「預貯金」(70.0%)がトップ。

ボーナス総額のうち各用途別の割合を聞いたところ、「預貯金」(44.4%)が4割以上を占める結果に。

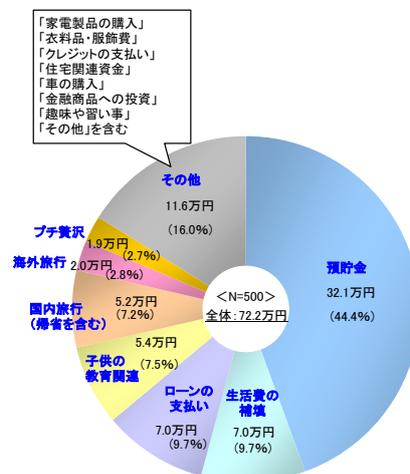
この夏のボーナスの主な使い道(複数回答)



ボーナスの主な使い道に「預貯金」(70.0%)をあげる人は昨年と変わらず 7割、という結果になった一方で、「生活費の補填」(40.2%→29.8%)、「ローンの支払い」(31.0%→24.0%)は昨夏の結果と比べて減少しました。

ボーナスの主な使い道の総額に占める割合

(この夏のボーナス平均手取り額 72.2万円を総額とし、金額に換算)



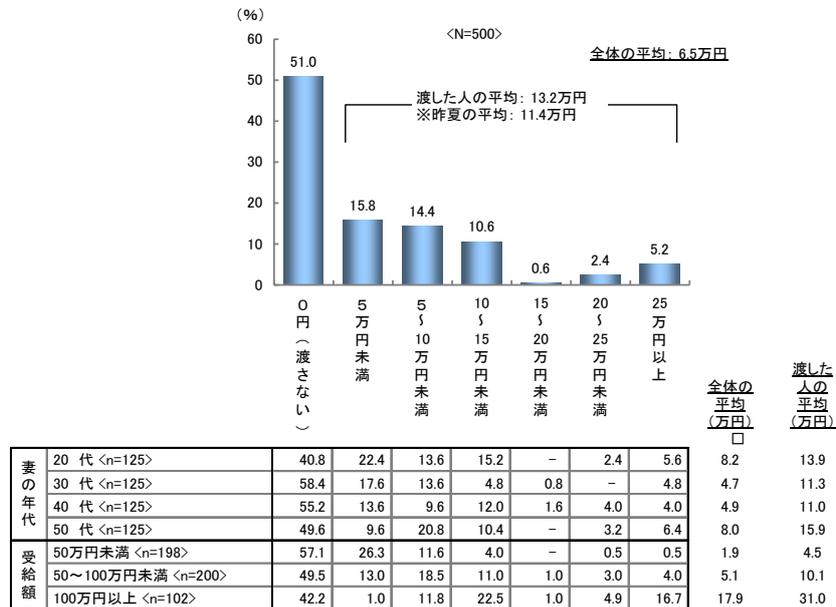
ボーナスの平均手取り額「72.2万円」を上記の割合で配分した場合、それぞれの使い道がいくらになるかをみると、トップの「預貯金」は「32.1万円」となりました。

※例えば「国内旅行(帰省を含む)」は「5.2万円」と、実際にはもっと費用がかかることが多いはずですが、500名の回答を平均でならずと、一家庭当たり「5.2万円」に当たることを示しています。

《ボーナスの中から夫に渡す小遣いの額》

ボーナスから夫に小遣いを「渡さない」と答えた主婦（51.0%）が半数を超える一方で、渡した（渡そうと思っている）金額の平均が「13.2万円」と昨夏の「11.4万円」から増加し、明暗が分かれた。

ボーナスの中から夫に渡した（渡そうと考えている）小遣いの額



今回のボーナスの中から、夫に小遣いとして渡した、あるいは渡そうと思っている金額については、「渡した」あるいは「渡そうと思っている」主婦（49.0%）の回答の平均額が「13.2万円」と昨夏の「11.4万円」から増加し、消費増税などによる家計への圧迫を受けながらも、夫に感謝する妻の姿がうかがえました。

《臨時ボーナスをあげたいと思う人とあげたいボーナス額》

芸能界では「タモリ」(10件)、スポーツ界では「浅田真央」(38件)が1位に。
渡したいボーナス金額(平均)では「田中将大」(2,410万円)がトップ。

臨時ボーナスをあげたいと思う人

分野別ボーナス額トップ10

芸能界			平均金額 (万円)	最高額 (万円)
順位		件数		
1	タモリ	10	1,211	10,000
2	嵐	9	1,513	10,000
3	有吉弘行	7	93	100
4	坂上忍	6	88	100
5	AKB48	4	60	100
6	明石家さんま	3	100	100
	イモトアヤコ	3	93	150
	堺雅人	3	100	100
	神田沙也加	3	407	1,000
	大島優子	3	47	100

スポーツ界			平均金額 (万円)	最高額 (万円)
順位		件数		
1	浅田真央	38	551	10,000
2	羽生結弦	20	247	1,000
3	田中将大	18	2,401	10,000
4	本田圭佑	9	210	1,000
5	イチロー	6	205	1,000
6	錦織圭	6	1,933	10,000
7	サッカー日本女子代表	4	1,313	5,000
	サッカー日本男子代表	3	433	1,000
	大久保嘉人	3	177	300
8	白鷺	3	83	100

その他			平均金額 (万円)	最高額 (万円)
順位		件数		
1	自分	3	11	20
	ふなっしー	3	100	200
	その他	29	1,503	10,000

総合得票・ボーナス金額(平均)トップ10

総合ランキング(票数)

順位		得票数
1	浅田真央	38
2	羽生結弦	20
3	田中将大	18
4	タモリ	10
5	嵐	9
	本田圭佑	9
7	有吉弘行	7
8	坂上忍	6
	イチロー	6
	錦織圭	6

総合ランキング(金額)

順位		平均金額 (万円)
1	田中将大	2,401
2	錦織圭	1,933
3	嵐	1,513
4	サッカー日本女子代表	1,313
5	タモリ	1,211
6	浅田真央	551
7	サッカー日本男子代表	433
8	神田沙也加	407
9	羽生結弦	247
10	本田圭佑	210

臨時ボーナスをあげたい人を聞いたところ、得票数ではソチオリンピックで活躍した「浅田真央」(38件)が1位、「羽生結弦」(20件)が2位となりました。芸能人では、長寿番組「笑っていいとも!」の司会を務めた「タモリ」(10件)がトップとなりました。

また、あげたい臨時ボーナスの平均金額が最も高かったのは、今年ニューヨーク・ヤンキースと契約して拠点をアメリカに移し、めざましい活躍をみせている「田中将大」投手(2,401万円)でした。

《主婦が詠む「ボーナス川柳」》

家計を預かる主婦が詠んだ「ボーナス川柳」は、「ボーナスが ボーナス払いに 消えてゆく」「ボーナスと という名の子供の 教育費」など、「家計のやりくりの大変さ」「ボーナスの額を見てガッカリした気持ち」を詠んだ作品が多い。

主婦が詠むボーナス川柳

【家計のやりくりの大変さ】

- ・ボーナスが ボーナス払いに 消えてゆく
- ・ボーナスと という名の子供の 教育費

【ボーナスの額を見てガッカリした気持ち】

- ・ボーナスで 何を買おうか 夢見るが
- ・ボーナスを もらったことは 忘れよう

【使い道は貯蓄が最優先】

- ・ボーナスが 出たが全額 銀行へ
- ・ボーナスが 入った口座 妻名義

【ボーナスが出ただけマシ】

- ・ボーナスは 出るだけましと 言い聞かせ

【夫への感謝の気持ち】

- ・囲まれて 1日アイドル ボーナス日
- ・夫婦仲 ボーナス日には 円満に

【世相を反映】

- ・ボーナスに 消費税並みの 上げもなし
- ・ボーナスも 便乗値上げと 願いたい

【ボーナスが出たことへの感謝】

- ・少ないが 心の底から 感謝です
- ・ボーナスで あと半年は 生きれそう

【ボーナスに期待していない】

- ・ボーナスは ないと思って 株投資
- ・賢けりゃ ボーナスなどに 頼らない

【使い道は旅行や食事】

- ・ボーナスで 帰省ができる 2年ぶり

【ボーナスの額を見て喜んだ気持ち】

- ・ボーナス日 通帳ながめ ほくそえむ

【今後のボーナスが不安】

- ・いつまでも あると思うな ボーナス日

【ボーナスの支給日・支給額がわからない】

- ・ボーナスが 出たか出ないか 知らされず
- ・口振りで 入ってるらしい 我が家のボーナス

川柳に詠まれた主な内容

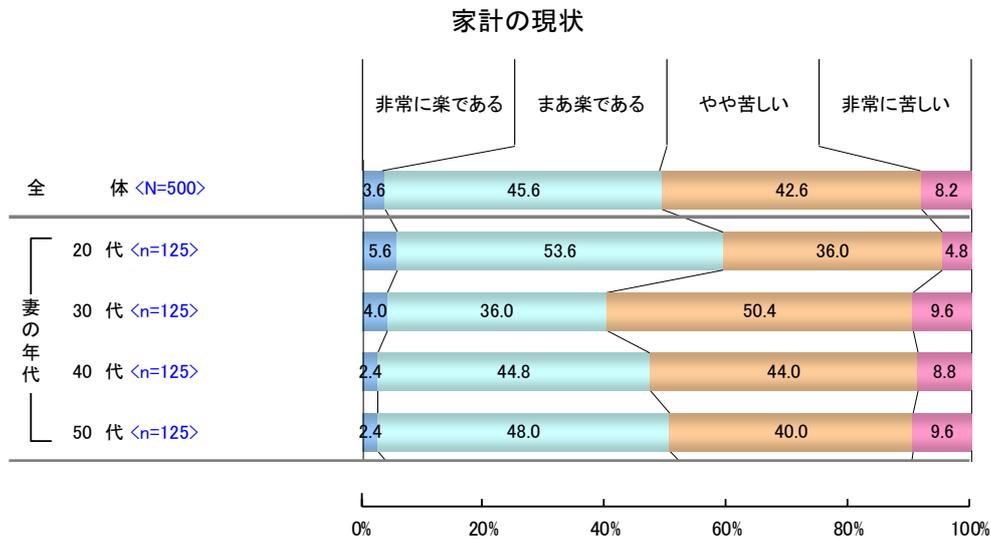
順位		件数
1	家計のやりくりの大変さ	75
2	ボーナスの額を見てガッカリした気持ち	33
3	使い道は貯蓄が最優先	20
4	ボーナスが出ただけマシ	18
5	夫への感謝の気持ち	15
6	世相を反映	14
	ボーナスが出たことへの感謝	14
8	ボーナスに期待していない	13
9	使い道は旅行や食事	12
10	ボーナスの額を見て喜んだ気持ち	10
11	今後のボーナスが不安	7
	ボーナスの支給日・支給額がわからない	7

ボーナスが支給されたことを受けた感想を川柳にしてもらったところ、「家計のやりくりの大変さ」や、「ボーナスの額を見てガッカリした気持ち」を詠んだ作品が多くみられました。

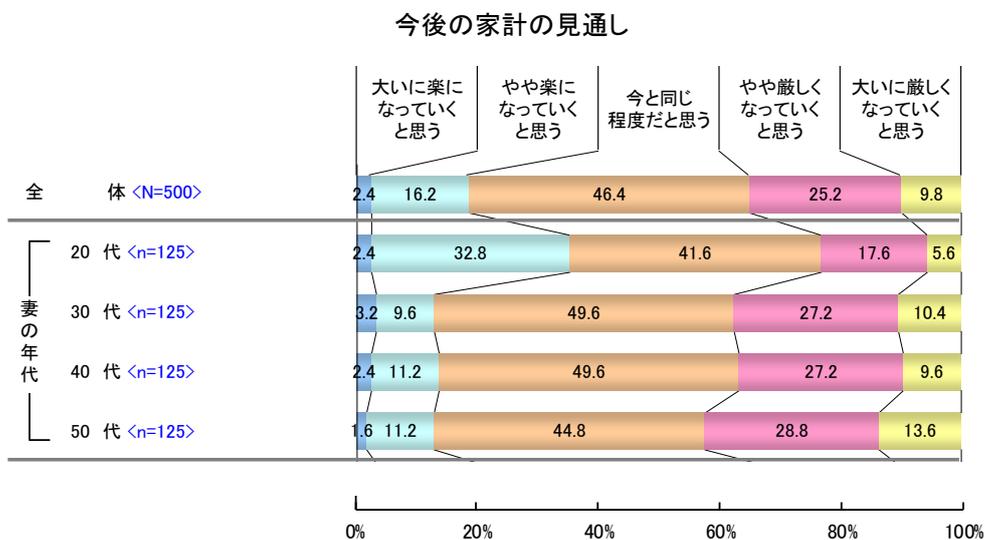
また、昨夏は「アベノミクス」が詠みこまれた作品が多く見受けられましたが、今年の「世相を反映」した作品の多くは「消費税」関連のもので、家計を支える主婦にとって増税が大きな関心事であることがうかがえました。

《家計の現状と今後の見通し》

現在の家計が“苦しい”（50.8%）と答えた主婦は昨年の 53.2%から減少。今後の家計の見通しについては、“楽になっていく”（17.4%→18.6%）がやや増加し、改善傾向がみられる結果となった。



家計をやりくりする主婦は現在の家計をどう認識しているのか聞いてみたところ、「非常に楽である」(3.6%)、「まあ楽である」(45.6%)を合わせた“楽である”(49.2%)という回答が昨夏に比べて2.4ポイント増加し、「やや苦しい」(42.6%)と「非常に苦しい」(8.2%)を合わせた“苦しい”(50.8%)とほぼ同率という結果になりました。

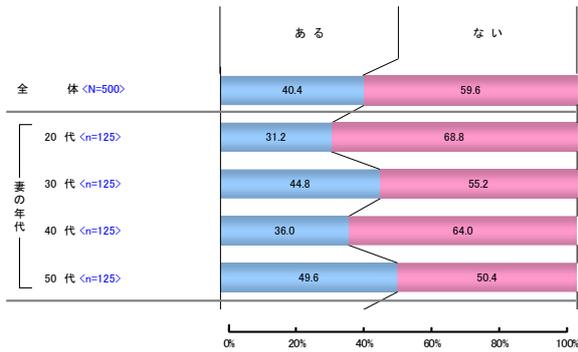


次に今後の家計の見通しについて聞いたところ、「大いに楽になっていくと思う」(2.4%)と「やや楽になっていくと思う」(16.2%)を合わせた“楽になっていく”(18.6%)という見方は昨夏(17.4%)に比べて微増しました。依然として家計のおかれる状況は厳しいようですが、徐々に改善傾向がみられるようです。

《夫に内緒の資産（へそくり）の保有状況》

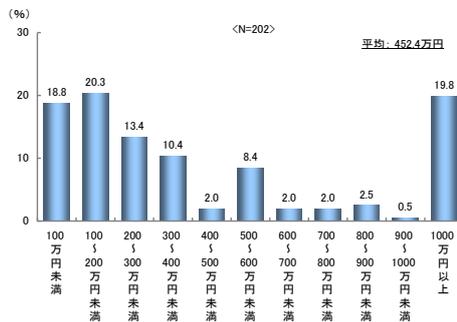
所持率が昨年に比べやや減少（41.8%→40.4%）するも、平均所持額は「416.0万円」→「452.4万円」と36.4万円の大幅増加。

『夫に内緒の資産』を持っているか



『夫に内緒の資産（へそくり）』を持っているか聞いたところ、約4割(40.4%)が「ある」と回答しています。昨夏の調査結果と比べると、保有者の割合は41.8%→40.4%とやや減少する結果となりました。

『夫に内緒の資産』の金額



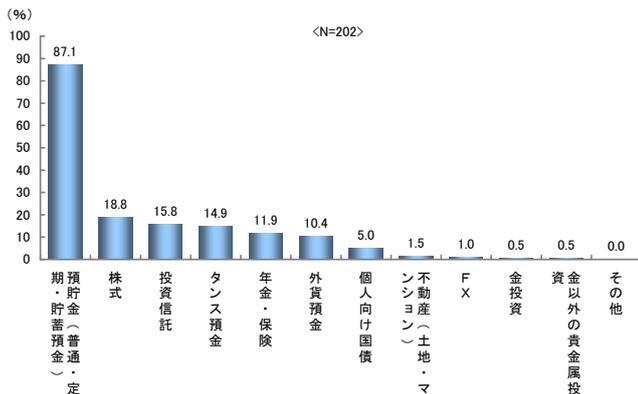
年代	20代 (n=39)	30代 (n=56)	40代 (n=45)	50代 (n=62)
妻の年代	35.9	15.4	17.9	10.3
妻の職業	14.7	21.1	14.7	10.5
妻の職業	22.4	19.6	12.1	10.3
世帯年収	28.6	18.6	18.6	8.6
世帯年収	30.8	28.2	10.3	12.8
世帯年収	16.2	27.0	13.5	18.9
世帯年収	-	12.5	8.9	5.4

『夫に内緒の資産（へそくり）』の保有額を聞くと、昨年もっとも多かった「100万円未満」という回答が減少（26.8%→18.8%）し、「100～200万円未満」が（20.3%）最も大きな割合を占めました。

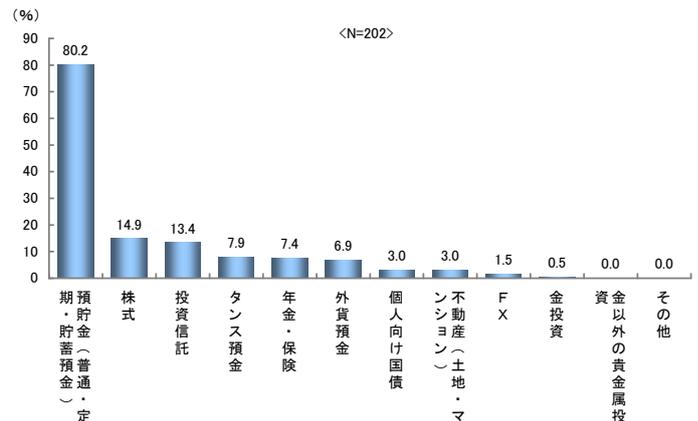
また、「1,000万円以上」という回答が昨夏と比べてほぼ倍増（10.0%→19.8%）し、平均額を「416.0万円→452.4万円」と大幅に引き上げる結果となりました。

『夫に内緒の資産』はどのような形で

保有されているか（複数回答）



今後はどのような形で保有したいか（回答は2つまで）

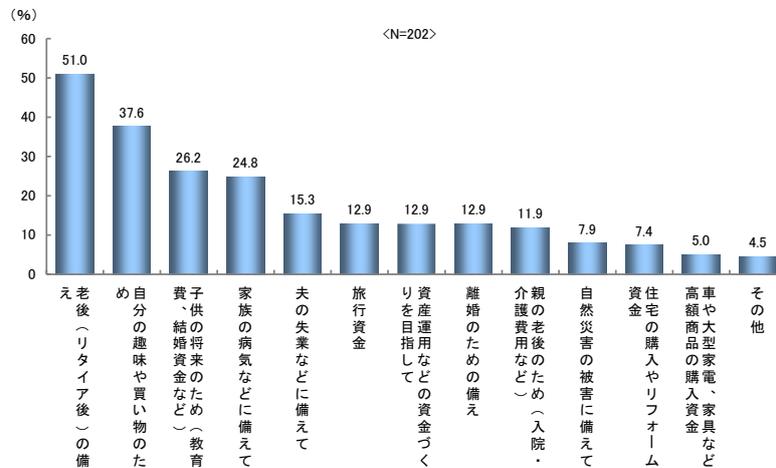


『夫に内緒の資産（へそくり）』の保有形態について聞いたところ、現状の保有形態では「預貯金（普通・定期・貯蓄預金）」（87.1%）が圧倒的に多く、そのほかでは、「株式」（18.8%）、「投資信託」（15.8%）、「年金・保険」（11.9%）、「外貨預金」（10.4%）といった金融商品が続きます。また、今後は『夫に内緒の資産』をどのような形で保有したいか聞いてみたところ、現在と同様「預貯金（普通・定期・貯蓄預金）」（80.2%）が圧倒的に多く、そのほかでは「株式」（14.9%）、「投資信託」（13.4%）、「タンス預金」（7.9%）、「年金・保険」（7.4%）などといった回答がみられました。

《夫に内緒の資産（へそくり）を持つ目的》

「老後（リタイア後）の備え」（51.0%）が群を抜いて多く、「自分の趣味や買い物のため」（37.6%）、「子供の将来のため（教育費、結婚資金など）」（26.2%）、「家族の病気などに備えて」（24.8%）などの順で、“将来の備え”のためという動機が大きい。

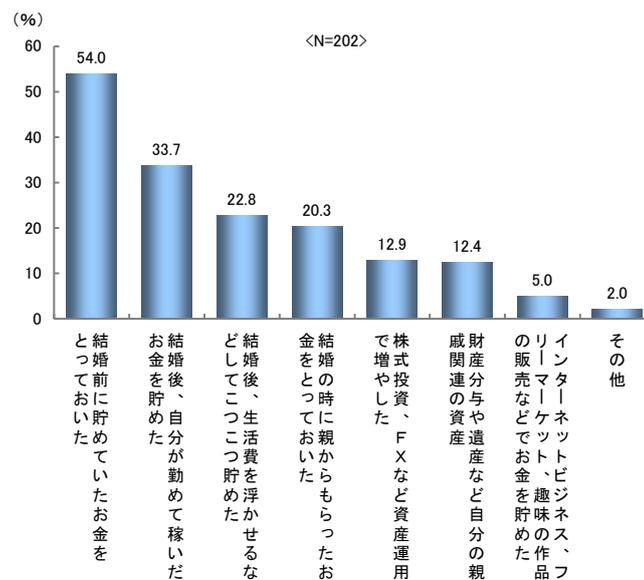
『夫に内緒の資産』を持つ目的（複数回答）



《夫に内緒の資産（へそくり）はどのようにして得たものか》

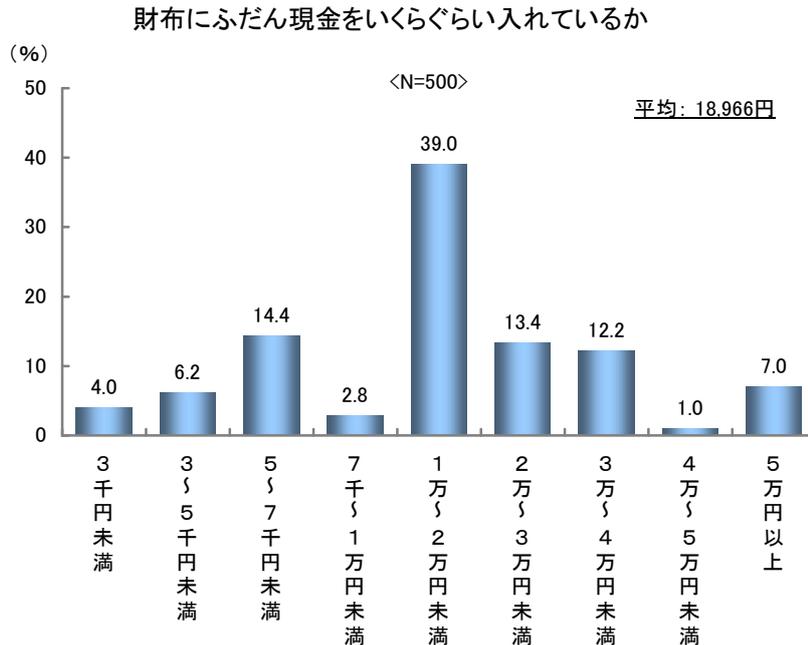
「結婚前に貯めていたお金をとっておいた」（54.0%）、「結婚後、自分が勤めて稼いだお金を貯めた」（33.7%）と“自分で働いて貯めた”お金が主。

『夫に内緒の資産』はどのようにして得たものか（複数回答）



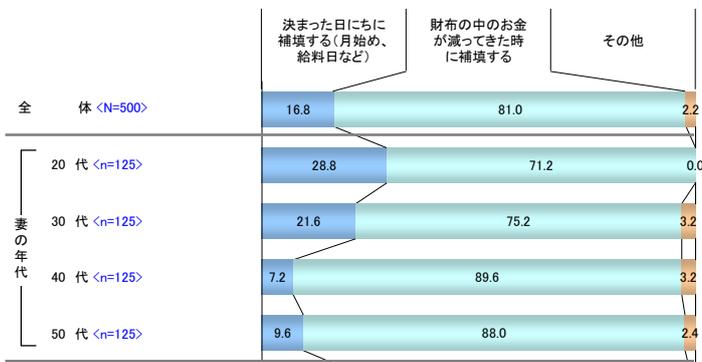
《財布にふだん現金をいくらぐらい入れているか》

「1万～2万円未満」(39.0%)が最多で、「5～7千円未満」(14.4%)、「2万～3万円未満」(13.4%)と続き、平均額は「18,966円」。

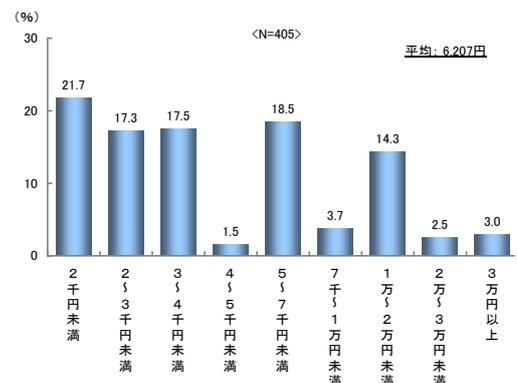


財布にふだん現金をいくらぐらい入れているか聞いたところ、「1万～2万円未満」がほぼ4割(39.0%)を占めて最も多く、以下「5～7千円未満」(14.4%)、「2万～3万円未満」(13.4%)、「3万～4万円未満」(12.2%)、「5万円以上」(7.0%)などの順となっており、人によって差が大きい様子が見えます。今回の調査の最高金額は「30万円」で、主婦の財布に入っている平均額は「18,966円」という結果になりました。

財布にお金を補填する時はどんな時か



補填するのはいくらぐらいまで減った時か

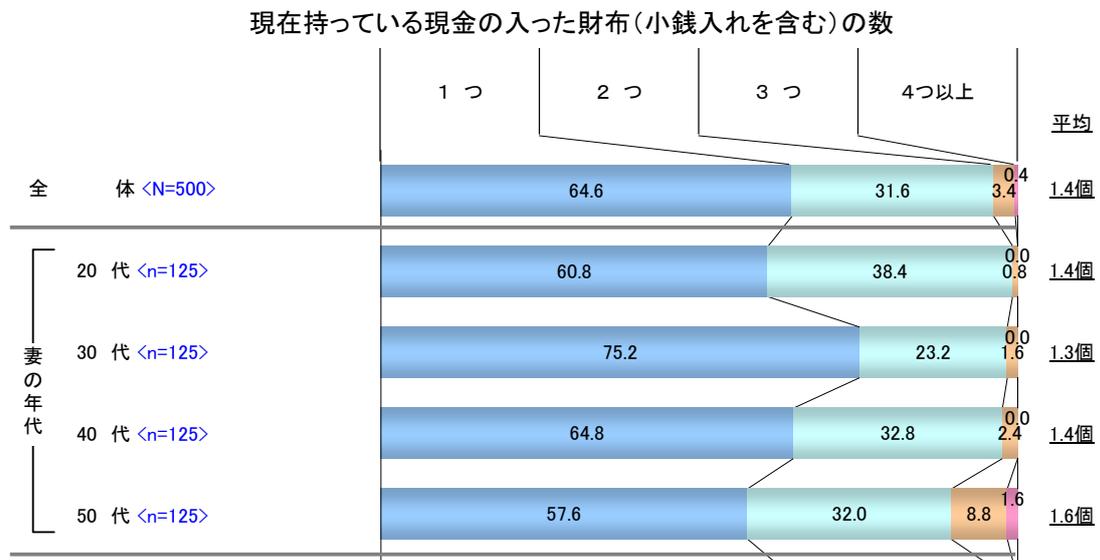


財布にお金を補填する時はどんな時かを聞いたところ、「財布の中のお金が減ってきた時に補填する」(81.0%)が8割を超え、圧倒的に多い結果となりましたが、「決まった日にちに補填する(月始め、給料日など)」(16.8%)という人もみられます。さらに、「財布の中のお金が減ってきた時に補填する」と答えた人に、補填するのはいくらぐらいまで残金が減った時かを聞いたところ、「2千円未満」(21.7%)が最も多いものの、以下「5～7千円未満」(18.5%)、「3～4千円未満」(17.5%)、「2～3千円未満」(17.3%)、「1万～2万円未満」(14.3%)と続き、中には「3万円以上」(3.0%)という回答もあり、人によるバラつきが大きいことがわかります。

また、補填する時の残金の平均額は「6,207円」となりました。

《現在、現金の入った財布（小銭入れを含む）をいくつ持っているか》

「1つ」（64.6%）と答えた人が最も多く、「2つ」（31.6%）、「3つ」（3.4%）、「4つ以上」（0.4%）がそれに続いた。2つ以上の財布の使い分けについては、「家計費と自分の小遣い用を分けている」（60件）と「小銭入れを別に持っている」（43件）が多い回答となった。



現在、現金の入った財布（小銭入れを含む）をいくつ持っているかを聞いたところ、「1つ」（64.6%）が6割を超えており、小銭入れ等と分けず、1つの財布だけを使う人が多いということが分かりました。それ以外では「2つ」（31.6%）という人がほとんどですが、「3つ」（3.4%）、「4つ以上」（0.4%）という人も少数ながらみられます。なお、今回の調査の最多個数は「8個」で、平均個数は「1.4個」という結果となりました。

2つ以上のお財布をどのように使い分けしているか（自由回答：件）

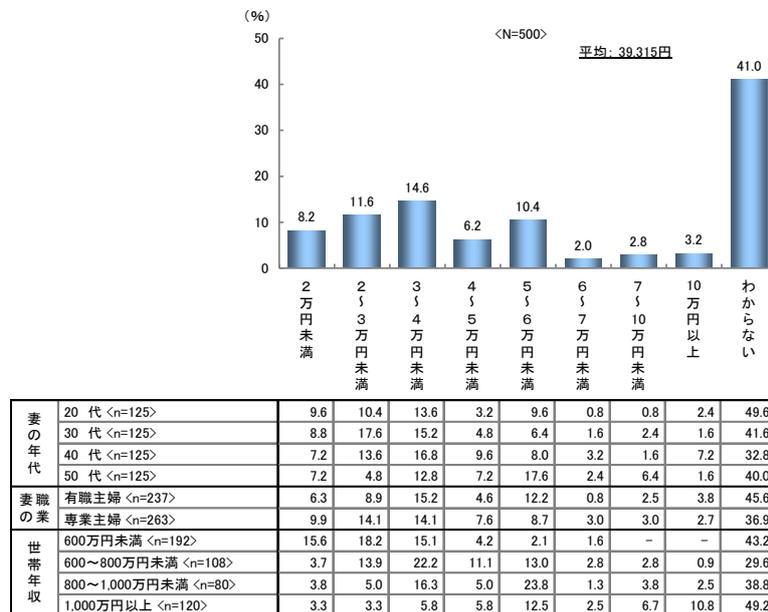
順位		件数
1	家計費と自分の小遣い用を分けている	60
2	小銭入れを別に持っている	43
3	持ち運び用と家での保存用を分けている	15
4	普段の買い物とお出かけ用・勤務用を分けている	14
5	一日に使って良い金額だけを入れて持ち歩いている	3
	バッグの大きさで使い分けしている	3
	その他	40

財布の数を「2つ以上」と答えた人（177名）に、2つ以上のお財布をどのように使い分けしているかを自由回答で聞いたところ、「家計費と自分の小遣い用を分けている」（60件）と、家計を預かる主婦らしい理由が最も多くみられました。そのほかでは、「小銭入れを別に持っている」（43件）、「持ち運び用と家での保存用を分けている」（15件）、「普段の買い物とお出かけ用・勤務用を分けている」（14件）といった、用途によって使い分けしている様子が見られました。

《現在、夫の小遣いは月いくらぐらいか》

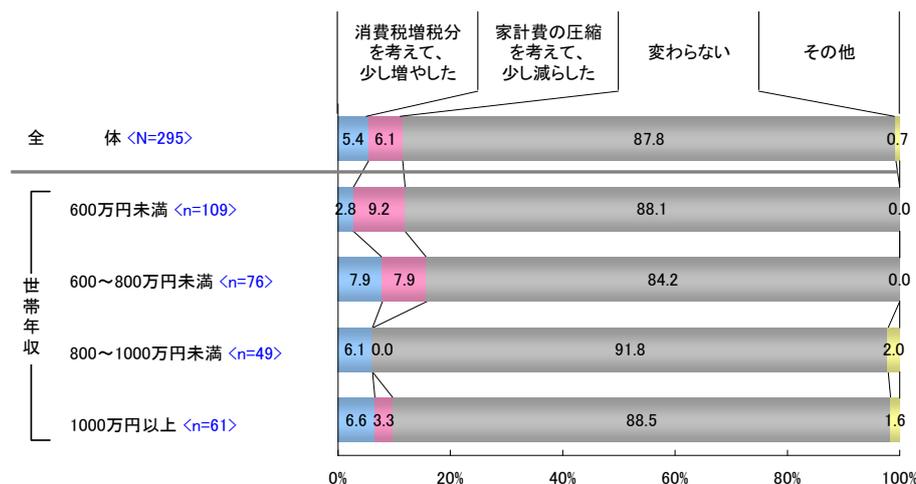
「わからない」(41.0%)を除くと、「3~4万円未満」(14.6%)、「2~3万円未満」(11.6%)、「5~6万円未満」(10.4%)などが多いが、人による差は大きい。具体的な金額をあげている人の平均額は「39,315円」。

現在、夫の小遣いは月いくらぐらいか



現在、夫の小遣いは月いくらぐらいか聞いてみると、「わからない」という人が4割強(41.0%)を占めています。具体的な金額をあげている人では、「3~4万円未満」(14.6%)、「2~3万円未満」(11.6%)、「5~6万円未満」(10.4%)、「2万円未満」(8.2%)と続き、少数ながら「10万円以上」(3.2%)といった回答もみられ、家庭によって差が大きいことがうかがえました。なお、今回の調査における最高金額は、「33万3千円」で、具体的な金額をあげている人の平均額は「39,315円」となりました。

4月(消費税増税)以降、夫の小遣いに変化はあったか



4月に消費税が5%から8%に増税されましたが、それ以降の夫の小遣いに変化があったかについて聞いたところ、「変わらない」(87.8%)が9割近くと大多数を占めました。その一方で、「家計費の圧縮を考慮して、少し減らした」(6.1%)、「消費税増税分を考慮して、少し増やした」(5.4%)がともにみられ、“支出が増えるから減らした”または、“物価が上がるから増やした”と両方の考え方があられるようです。

【参考】サラリーマン世帯の主婦に聞く『夏のボーナスと家計の実態調査』過去推移

年	夏調査																票数	
	ボーナス			ボーナスの今後の見通し			へそくり			ボーナスから渡した夫の小遣い		家計の苦しさ		家計の今後の見通し				臨時ボーナスをあげたい人(最多回答)
	平均手取り(万円)	増えた	減った	増える	減る+なくなると思う	変わらない	平均所持率	持っている人の平均(万円)	最高金額(万円)	渡した人の平均(万円)	小遣いなしの割合	楽である	苦しい	楽になる	厳しくなる	今と同程度		
2003	67.1	23.4%	53.0%														主人	23票
2004	65.8	38.4%	27.6%	30.4%	32.6%	28.0%				4.0	17.6%						自分自身	68票
2005	76.2	43.2%	20.4%				43.6%	230.2	2,000(3名)			46.4%	53.6%				サッカー日本代表	96票
2006	77.8	49.8%	17.4%				55.2%	313.2	3,000			45.8%	54.2%				荒川静香	68票
2007	77.9	49.2%	20.2%				45.2%	267.9	3,000	7.3	23.6%	49.2%	50.8%	19.8%	45.6%	34.6%	石川遼	58票
2008	75.3	37.0%	26.0%	30.8%	32.6%	36.6%	41.0%	356.3	4,000	12.3	41.6%	45.4%	54.6%	15.2%	46.4%	38.4%	エド・はるみ	38票
2009	65.5	20.6%	53.6%	25.6%	40.8%	33.6%	34.8%	337.2	4,000	9.8	48.0%	38.4%	61.6%	12.2%	50.0%	37.8%	イチロー	107票
2010	67.0	40.8%	28.4%	37.0%	29.8%	33.2%	45.0%	364.5	5,000	8.6	48.6%	44.2%	55.8%	15.6%	40.8%	43.6%	嵐	45票
2011	67.6	33.7%	25.9%	31.3%	31.5%	37.2%	44.7%	336.6	5,500	10.6	48.0%	42.9%	57.1%	16.3%	49.4%	34.3%	石川遼	73票
2012	61.1	24.4%	24.0%	26.2%	35.4%	38.4%	43.6%	384.3	5,000	10.8	48.8%	40.2%	59.8%	13.6%	43.0%	43.4%	AKB48	29票
2013	69.9	37.4%	22.6%	29.2%	25.6%	45.2%	41.8%	416.0	17,000	11.4	53.0%	46.8%	53.2%	17.4%	35.0%	47.6%	本田圭佑	51票
2014	72.2	35.0%	15.0%	28.2%	20.8%	51.0%	40.4%	452.4	30,000	13.2	51.0%	49.2%	50.8%	18.6%	35.0%	46.4%	浅田真央	38票

注①:2011年のみ調査対象人数は1,000人

年	夏調査											
	主な使い道											
	1位	金額換算	2位	金額換算	3位	金額換算	4位	金額換算				
2003	生活費の補填	51.2%	預貯金など貯蓄	47.0%	ローン・クレジットの支払い	41.2%	国内旅行	28.8%				
2004	預貯金など貯蓄	56.2%	ローン・クレジットの支払い	38.6%	生活費の補填	37.8%	国内旅行	22.0%				
2005	預貯金など貯蓄	53.6%	ローン・クレジットの支払い	37.0%	生活費の補填	31.4%	国内旅行	29.6%				
2006	預貯金など貯蓄	55.2%	ローン・クレジットの支払い	35.8%	生活費の補填	33.4%	国内旅行・帰省	28.0%				
2007	預貯金など貯蓄	58.6%	ローン・クレジットの支払い	37.8%	生活費の補填	33.0%	国内旅行・帰省	30.4%				
2008	預貯金など貯蓄	55.8%	生活費の補填	36.4%	ローン・クレジットの支払い	33.2%	子供の教育関連	25.0%				
2009	預貯金など貯蓄	51.6%	生活費の補填	35.4%	ローン・クレジットの支払い	31.2%	国内旅行・帰省	22.2%				
2010	預貯金など貯蓄	74.2%	26.7万円	生活費の補填	39.6%	7.5万円	ローンの支払い	37.6%	11.2万円	プチ贅沢	28.4%	2.3万円
2011	預貯金など貯蓄	68.7%	24.2万円	生活費の補填	39.2%	7.8万円	ローンの支払い	33.0%	9.6万円	国内旅行・帰省	29.7%	4.1万円
2012	預貯金など貯蓄	72.8%	24.2万円	生活費の補填	38.2%	7.5万円	ローンの支払い	32.6%	8.7万円	国内旅行・帰省	26.6%	3.3万円
2013	預貯金など貯蓄	70.0%	26.4万円	生活費の補填	40.2%	9.9万円	ローンの支払い	31.0%	9.5万円	国内旅行・帰省	23.6%	3.3万円
2014	預貯金など貯蓄	70.0%	32.1万円	生活費の補填	29.8%	7.0万円	国内旅行・帰省	28.8%	5.2万円	ローンの支払い	24.0%	7.0万円

注②:主な使い道に関する質問は10年夏より「ローンの支払い」と「クレジットの支払い」に分割

【本件に関するお問い合わせ先】

損保ジャパン・ディー・アイ・ワイ生命保険株式会社
 経営企画部 広報グループ : 植松、高月 TEL:03-5437-9026